

ホーム名：グループホーム楠根の里							
自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
<b>I. 理念に基づく運営</b>							
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念として、「その人らしい心身に穏やかな状態を保ち、張り合いのある暮らしをモットーとする」を掲げ、利用者様に書いて頂き玄関の正面に貼りだし、常に意識を持って実践していけるよう心掛けています。	当事業所は、理事長自らの介護体験から、地域密着型サービスの必要性を感じ、設立されたもので、「その人らしい穏やかで楽しみのある」地域生活の継続を重視した理念を掲げている。	管理者と職員は、日々入居者と関わる際に、常に理念を念頭に置いて実践して頂きたい。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	近くの小学校と交流を持ち、運動会・音楽会に参加させて頂いたり、また、小学生の授業の一環として活用されている。日々の散歩では、近所の方とも顔みしりになって、楽しみにされている。	自治会に加入し地域の盆踊りや、小学校の運動会、音楽会にも参加している。毎日の散歩では、お互いに挨拶をかわし近所の人達とも顔馴染みになっている。	自治会長、自治会会計は、当事業所理事会の評議員を務めている。更に地域との交流が深まることを願う。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実施していないが、地域包括センターと連絡を密にして、前向きに取り組んでいきたい	/		/	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、1回/2か月行い、地域包括の方や地域の方にホームを理解して頂けるよう話し合い、また、意見を頂いている。	自治会長、地域包括支援センター職員、家族代表、理事長、職員の参加により、22年度後半から2か月に1回開催している。感染症の予防、緊急時並びに災害時の対応、子による経済的虐待について意見交換している。	会議出席者の夫々の立場からの意見を記録し、サービスの向上に活用して頂きたい。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	市役所にはパンフレットを置かせてもらい、地域包括の方とは、運営推進会議にも参加して頂き、相談・ご指導して頂いている。	福祉部高齢介護室と「地域資源マップ作成」の為にワークショップを開催したり、また社協、グループホーム事業者、居宅介護事業者と「南包括圏内ネットワーク会議」に参加した。	市担当者には運営推進会議開催の案内をしている。今後も市関係部局との協力関係維持に努められたい。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	国道が近くにある為、施錠しなければならぬのが現状である	認知症により、自分が立てないことを忘れて、立ち上がろうとする2名について、家族の要請により、車椅子の安全ベルトを使用しているが、最小限の時間に止めるよう努力している。また半数の入居者は、向精神薬の処方により穏やかに過ごしている。	家族の要望に対しては、抑圧的な生活の弊害を説明し、出来る限り自由で、尊厳のある暮らしを実現して頂きたい。		
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見逃ざされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員一同は、高齢者虐待防止法についての研修を行い、日々の介護に活かされるよう努めている。	/		/	

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>入所申し込み時、家族や関係者に説明している</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入退所時は、家族様の疑問・不安がなく、納得して頂けるよう心掛けています。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関にご意見箱を設けているが、意見が入っていることはないが、面会時などに、ご意見を頂くことがあり、参考にさせて頂いている。</p>	<p>家族に対しては、面会時に声掛けするように心がけており、面会機会の少ない家族には、管理者の携帯番号を教えて、意見を聞いている。</p>	<p>入居者が、外出や催しに参加した時の写真をアルバムにして随時、見てもらっている。壁面に掲示されると、家族が訪問した時に入居者の日々の暮らし振りが分かり易い。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>いつでも話が出来る様、個々人と話す時間を多くとる様、心がけている</p>	<p>管理者と職員は、お互いに気さくで、話しやすい関係を構築しており、日々の業務の中で、又は研修会の際に意見を聞いている。</p>	<p>提案された職員の建設的な意見は、研修会後の職員会議で検討した上で、運営に反映させるような仕組みにすると職員の意欲の向上に繋がる。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>昇給・賞与にて、職員の実績を評価し、向上心をもって働いてもらえるよう、話しをする時間を設けている</p>		
13	<p>○職員を育てる仕組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会を確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者の最も悩むところであり、研修を受けた後、他の職員に効果的に伝達する方法等、運営者自身から学ばなければならない</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>勉強会などの集まりには、必ず参加させて頂き、同業者との話をし参考にさせて頂いている。</p>		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所当初は出来るだけ本人の気持ちや要望を聞き、安心して暮らして頂けるよう心がけている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>見学时・体験入所時等出来るだけ、家族や関係者の話しを聞く様心がけている</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>聞き上手になり、本人や家族・関係者の気持ちを大切にする様努めている</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の一番活躍していた頃の話しを導き出し、喜びを大きく共にする様心がけている</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族などの来訪された時は、居室ばかりにおらず、リビングで他の利用者や職員と共に過ごして頂く様努めている</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>疎遠であった人たちには少しでも密になる様、又、密着していた家族には距離をおいて見られる様、話しかけたり接したりしている</p>	<p>大切な人に年賀状や暑中見舞いをやり取り出来るように支援している。本人の能力に応じて名前の記入や、折り紙を貼る等して貰い、困難な人には宛名の代筆を支援している。</p>	<p>寝屋川の利用者の実家周辺へのドライブに出かけている。今後も馴染みの関係継続に支援願いたい。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>当施設は1階・2階があり、気のあった人同士が行き来している。また、歌体操などのボランティア開催時は合同で参加している</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>市内の方には、本人の要望を聞き、自宅や馴染みの場所にドライブに行っている。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人との会話を大切にし、家族の方も交え充分話し合いを持つよう努めている	日常のケアの中で、本人の言葉や動作から、一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。	職員は入居者の身体状況の日差にも配慮し、本人の意向に沿うようなケアを心がけている。今後も更に本人本位のケアを願いたい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	会話を大切にし、その人らしさを見極めるよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1人ひとりに合ったサービスの提供が出来る様、ケアマネジャーや職員が本人を把握する様努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネジャーが絶えず総合的に把握し、家族や関係者と連絡を密にしている	看護師でもあるケアマネジャーが、介護計画作成前に本人や家族の意見・要望を聞き、本人がより良く暮らすための長期目標、並びに短期目標を明示した介護計画を作成している。	計画は読みやすく纏められている。引き続き現状に即した介護計画を作成して頂きたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々、個別の記録をケアプランに沿って記録を行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院や整髪等、家族の状況や要望に応じられる様努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元の小学校から社会見学で授業に来られたり、運動会・盆踊りなどに参加させて頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	従来のかかりつけ医の通院については、本人・家族様の意思を尊重しています。ホームとしては、2回/月の往診をしています。	内科は協力医院2箇所の医院から各月1回づつ月2回の往診を受けている。内科以外は家族の要望の医院を受診する。医院の受診について家族の付き添えない時にはホーム管理者または看護師が付き添う。歯科医については近隣の歯科医院に往診の依頼をしている。	かかりつけ医については家族本人の要望を聞いた結果、殆どの入居者がかかりつけ医を協力医院に移行した。日常介護の職員の中から往診に付き添われることはホームとしての負担は大きいと考えるが、きめ細かい対応を続けられたい。

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>ケアマネが看護師であるので、協力医療機関と相談しながら支援している</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院した際には、本人・家族様の相談にのり、また病院の方とも密に連絡を取るよう努めている。</p>		
33 12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所される前に、当ホームでの、できる範囲のことは家族様に説明させて頂いている。重度化した場合には、再度、家族様や病院関係者と話し合いをしている</p>	<p>入居に当たって重度化したときのホームの対応限度については充分説明している。ホームで出来る事、出来ない事の説明のもと次の施設の選択に管理者は力を尽くしている。</p>	<p>ホームでは終末介護が出来ないことを入居時充分に説明している。そのことについて、記録に残し家族の確認も貰われない。今後とも家族との意思の疎通を図ながら、次の受け入れ施設選択に支援の継続を望みます。</p>
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを常備しており、定期的に研修を行っている。</p>		
35 13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防火訓練は、年2回行っており、災害についても研修を行い、職員が対応できるようにしている。また、自治会にも何かあった場合は協力をお願いしている。</p>	<p>年2回の災害訓練は地域の協力も得て行っている。その結果の報告を消防署にしている。スプリンクラーの設置は終了した。</p>	<p>地域の協力も得られることは心強いことである。備蓄品は水とアルファ米を備蓄している。それだけで充分か会議でも話し合っていたきたい。</p>

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>プライバシーについても、研修を行い、人格を損なわないよう心がけ対応している。</p>	<p>職員は年配の方が多く、節度をもって介護業務に当たっている。言葉使いなど日常気が付いたことは管理者がその都度注意している。</p>	<p>尊厳の確保ということは入居者にはいやな思い、恥ずかしい思いをさせないよう、こころ配りをする介護である。時には職員ミーティングなどで話し合い、職員の更なる研鑽を期待する。</p>
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>聞くことを大切にし、利用者様が、ゆっくり思いが話せる様導き、納得できる様支援している</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入浴・昼寝・レクリエーションなど、利用者様1人ひとりのペースに合わせてながら支援している</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>何を着るか本人に聞きながら、対応している</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>お手伝いのできる利用者様は、野菜の皮むきやテーブル拭きなど、できる範囲でして頂いている</p>	<p>食材は業者から届き、そのメニューに副ってユニットごとに調理している。ホーム内で作られる温かさの伝わる食事であった。また要望により、揃って外出に出かけることもある。</p>	<p>理事長から野菜・味噌が届けられ其れも食卓にのる。料理好きの職員を調理担当時間帯に配属することにより、家庭的な食事の提供をしている。高齢者の最大の楽しみとも言える食の充実を継続させていただきたい。</p>
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるように、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士によるカロリー計算のもと、献立・調理している。食事量・水分量は時間・量を記録し、少量の場合は補食して頂いている</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、口腔ケアをして頂いている。できない利用者様は、職員が介助している</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄チェック表を用いて、個別でわかるようにしており、声かけや誘導にて自立して頂けるよう支援している。</p>	<p>チェック表を有効に利用し、声掛け誘導を行うことにより出来る限り排泄の自立を続けられる支援をしている。</p>	<p>高齢化が進むことにより段々排泄の自立の難易も高まっている。排泄の自立は高齢者が一番望むところである。今後も更なる自立への支援を願う。</p>
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便も記録し、便秘にならないよう、果物の摂取・運動を心がけている</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>週2回の入浴のため、原則的には決めているが、本人の希望に応じて対応している。</p>	<p>最低週2回の入浴の確保を目標としている。声掛けに工夫を凝らすことで入浴を嫌がる入居者も入浴するように支援している。普通浴が困難になった場合は機械浴のある施設への移行の支援をしている。</p>	<p>高齢になると入浴のための動作が大儀に感じるのかもしれない、衛生面からも、心身のリラックスのためにもゆっくり入浴を楽しむ支援を継続されたい。</p>

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個別で対応しており、眠れない場合などはお話し、リラクセスして頂ける様にしている</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>内服薬については、説明文を個人記録に添付しており、薬の変更等は、管理日誌・連絡ノートで職員に伝えている</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>家事（洗濯など）のお手伝いや今までの趣味を生かせるよう、編み物や手芸などして頂いている。また、買い物・外食などで気分転換を図っている。</p>		
49 18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の希望と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>日課で散歩を取り入れている。花見・遠足などにいったり、外食などの希望がある場合は、できるだけ対応しており、家族様にもご協力頂いている</p>	<p>毎日、散歩に行っている。外出は希望に添って外食や喫茶店に出かけている。また元の住居の辺りに同方面の複数の入居者とドライブに行くこともある。</p>	<p>ホームから外に出ることは足腰の鍛錬もさることながら、草木を見て季節を感じ、世の中に触れて五感が刺激される。散歩、外出、ドライブこれからも引き続き支援されたい。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持についてはトラブルを招く為、当ホームではお預かりさせて頂いている。買い物などのご希望時には、職員同行にて支援している</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族さまなどに年賀状や暑中見舞いを書いて頂けるように努め、ご希望があれば、電話を取りついでいる。</p>		
52 19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花を飾ったり、お雛様・クリスマスツリーなどの飾りつけたりし、季節を感じてもらえる様にしている</p>	<p>リビングは広く清潔でスッキリしている。壁には入居者が書いた書作品や折り紙が配置良く張られている。廊下も広く壁には理事長の好みの絵画を掛けてあり、時々絵も掛け換えられる。リビング、廊下はリハビリに利用できている。トイレ・浴室は衛生的であった。</p>	<p>ホームはグループホーム用に建てられ設備は整っている。道から門扉を入ると日本的庭があり、年2回植木屋に手入れを頼み、日常的には理事長が手入れをしている。ホームの玄関（市の指導により）、リビングの入り口はロックされている。</p>
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>窓辺に一人や仲の良い人と過ごして頂けるように椅子を置き、活用して頂いている。</p>		
54 20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>契約時に家族様と話しをし、利用者様に安心して暮らして頂けるよう工夫している</p>	<p>居室にはホームからベッドとチェストを設置した。チェストは部屋により形を変えてあり、各部屋に変化も出ている。その他自分の使い慣れた物を持ち込んでいる入居者もいる。家族の意向にもより他の物を持ち込んでない居室、カレンダー、時計設置していない居室が有る。</p>	<p>生活感がある部屋にするためにも、また、毎日見ることで日時認識の復活の可能性もあると考える、どの部屋にもカレンダー、時計の設置をして欲しい。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室・トイレには、大きく表札をあげ、わかりやすくしている</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない